

盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン（概要版）

アクションプラン策定の趣旨と背景

令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う甚大な影響が多方面に波及しており、国内外の観光需要は大幅に減少し、本市も大きな影響を受けている。

本市においては、コロナ前に策定した観光推進計画に加え、今後起こりうる社会情勢の変化への対応が求められており、「盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン（以下、アクションプランという。）」を策定し、通年型観光による誘客促進に取り組むこととしたものである。

アクションプラン策定目的

国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光需要への影響を踏まえ、既存の観光推進計画に「盛岡市におけるポストコロナ時代を見据えた観光の推進」を基本施策の柱に加え、具体の施策の実現を図るものである。

期間及び成果指標、評価

アクションプランは、現在の観光推進計画の期間（令和2年度～6年度）のうち、令和4年度～6年度までを対象とし、次期計画の策定時に計画全体の見直しを行うこととする。また、アクションプランの成果指標は、盛岡市観光推進計画令和6年度の成果指標とする。

なお、位置付けられた事業については、盛岡市観光審議会において進捗状況を点検・評価する。

基本施策・体系図

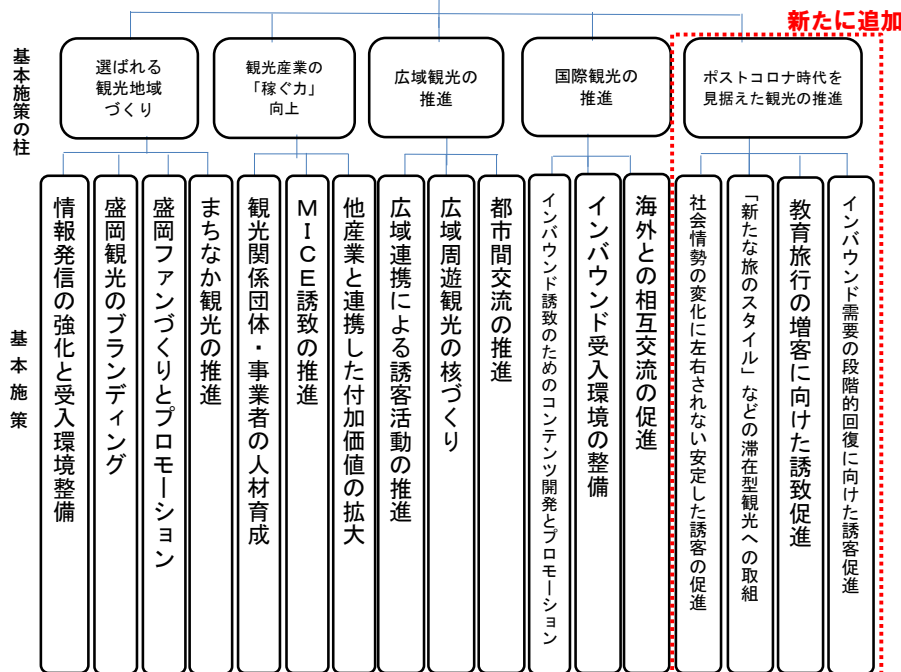
これまでの交流人口・関係人口の拡大を目指した祭り・イベントの施策に加え、盛岡市固有の観光資源を生かした「通年型」、「体験型」観光の視点とともに、個人旅行を意識した誘客促進に向けて、次のとおり基本施策を新たに追加する。

目指す姿

世界から盛岡ファンを引き寄せる 東北の観光交流都市

基本目標

- ・「歩いて楽しむまち盛岡」の魅力向上による盛岡ファンの拡大
- ・デジタルプロモーションなどの情報発信による認知度の向上
- ・メガスポーツイベントや東北DCを活用した誘客の促進



ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン（主な具体的取組）

アクションプラン策定の背景 ⇨

コロナ禍における観光を取り巻く情勢の変化

- ① 大規模催事（祭り・イベント）の中止，移動の自粛，制限に伴う宿泊観光需要の減少。
- ② 集団（団体）での行動から少人数（個人）への旅行行動の加速化。
- ③ インバウンドの激減。
- ④ ポストコロナ時代の社会変化に対応する付加価値の高い新たな観光ニーズの高まり。（滞在型・分散型観光への移行）

観光を取り巻く情勢変化への対応

ポストコロナ時代を見据えた観光の推進

基本施策・施策の視点

1. 社会情勢の変化に左右されない安定した誘客の促進

- 本市固有の観光資源を生かした通年型での誘客促進
- 観光地，観光施設の魅力の向上
- 付加価値の高い新たな観光ニーズに対応する取組の推進

2. 「新たな旅のスタイル」などの滞在型観光への取組

- 本市に適応したワーケーション・ブレジジャーなどの滞在型観光の普及促進と誘客に向けた取組の推進

3. 教育旅行の増客に向けた誘致促進

- コロナ禍で生まれた安心な旅行先として選ばれ続ける誘致活動とニーズに適応した誘致につながる取組の推進

4. インバウンド需要の段階的回復に向けた誘客促進

- インバウンド需要の回復に備えた受入環境の整備，回復期の誘客につながる効果的なプロモーションの推進

具体的取組（◎ 新規 ・ ○ 拡充）

- ◎ 首都圏観光プロモーション事業
 - ・ 本市の魅力を取り入れた新たなモデルコースなどをSNSで情報発信・拡散。
- ◎ MICE誘致・開催支援の強化
 - ・ 感染防止対策に伴う経費の助成やPR動画の制作 など。
- 盛岡手づくり村とつなぎ温泉を活用した観光振興
 - ・ 温泉街イルミネーション，盛岡さんさ踊り常設公演 など。
- 祭りを活用したファンづくり
 - ・ 街なかでの盛岡さんさ踊りなど，伝統の祭りを活用した体験型観光の推進。
- ◎ ワーケーションなどの滞在型旅行のモデルプランの周知
 - ・ ワーケーション先進事例，モデルプランを市ホームページにより情報発信。
- 体験型メニュー，ニューツーリズム等推進体制の整備
- 教育旅行経験者のリピーター化促進策の検討
 - ・ 教育旅行は未来の盛岡ファン，リピーターとしての観光につながる原点と捉え，再訪促進に向けた仕組みづくりと市内のSDGsの取組など教育旅行ニーズに適応した誘致活動。
- ターゲット国への戦略的なプロモーションの展開
- 盛岡City Wi-Fiの拡充など，受入環境の整備
- 観光案内版の多言語化，誘導標識の計画的な整備，更新